



平成 23 年・第 2 回定例会は、平成 23 年 6 月 21 日～7 月 5 日までの 15 日間の会期で開催されました。▼市長提案理由説明では、本年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げるとし、県等と連携しながら被災地への支援物資の提供や保健師等の派遣を行ったとしました。▼これまで交流のあった福島県南相馬市等、被災地への見舞金・義援金 2,200 万円の他、被災者支援に関する費用や当市に避難されている児童・生徒への就学援助費などを措置したとし、市民の心温まる義援金や支援物資のご芳志に感謝するとしました。▼また先般、南相馬市を訪れ、被災市町村に対して息の長い支援が必要と強く感じ、基礎自治体である市町村は、住民の生命、財産及び生活を守る為の最も重要な役割を担っており、特に原子力災害に対する取り組みは、これまでよりも一層強化していかなければならないと痛感したとしました。▼国の防災基本計画の抜本的な見直しを行う上で、七尾市に於いても国の動向を注視しながら、県と連携し七尾市地域防災計画の点検・見直しの作業を進める考えを示しました。

▼和倉温泉を抱える当市では、和倉温泉まちづくり事業に総事業費 17 億 2,800 万円を見込み、平成 20 年度から 5 年計画で取り組み、この 4 月 29 日には和倉温泉観光交流センターがオープンし、昨年度比約 6 万 4 千人増の 87 万 4 千人まで回復したとしました。▼ところが、先般の地震により、宿泊予約のキャンセルが相次ぎ深刻な状況に陥ったと説明し、ゴールデンウィーク期間中こそ前年並みの誘客数を保ったが、今後も大変厳しいと予測され、国内外からのさらなる誘客促進に努めていく考えを示しました。▼GIAHS(世界農業遺産)に関する取り組みは、6 月 9 日から 12 日に GIAHS 国際フォーラムが北京で開催され、10 日には「能登地域 GIAHS 推進協議会」を代表してプレゼンテーションを行ったとし、能登地域の人々の暮らしは、昔から「生物多様性」と「特産の伝統文化」が地用をした農林水産業を中心に営まれ、この暮らしが地域住民の連携意識を育み、美しく豊かな自然環境を守っている事、そして今後も守っていく事をアピールしたと報告しました。▼この認定を契機として、今後は、協議会のメンバーである 4 市 4 町に加え、県や他の団体とも連携しながら、能登の豊かな自然や文化を地域の「宝」として再認識し、その魅力を高め、持続可能な地域づくりを今回、同時に認定を受けた佐渡と共に進めたいとの考えを示しました。▼平成 23 年度一般会計補正予算では、東日本大震災による被災者支援事業及び本市における地震防災体制の充実を図るほか、地方議会議員年金制度の廃止に伴う負担金など、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 1 億 3,095 万 6 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 302 億 9,712 万 1 千円としました。

▼今回の議会一般質問には 13 名の議員が立ち、市政や議案に対する質疑・質問が行われ、活発な議論が交わされました。私は 27 日に登壇し 7 点 20 項目にわたり議会質問いたしました。今議会の概ねを皆様にご報告致します。



■一般会計補正予算額 … 1 億 3,095 万 6 千円

(単位:千円、%)

6 月補正予算の推移	6 月補正予算額	6 月補正後予算額	対前年比
■平成 23 年度	130,956	30,297,121	2.3
■平成 22 年度	732,677	29,602,677	△5.1
■平成 21 年度	2,515,769	31,185,769	12.7

**【6月補正・主要事業】**

(単位:千円)

事業名	事業内容	事業費	担当課
0.東日本大震災対応事業			
合宿等誘致事業費	被災地のジュニアジャズバンドをモンレージャズフェスティバルへの招待(七尾市、県及び民間事業者が各 1/3 負担)	2,000	観光交流課
緊急雇用創出事業費	七尾市内へ避難している方の雇用の場を確保(3人分) <ul style="list-style-type: none"> ・七尾市広報資料整理事業 … 広報広聴課 ・演劇の町振興事業 … 文化振興課 ・企業情報収集並びに台帳作成事業 … 産業振興課 	5,046	産業振興課
東日本大震災被災農業者再就農支援事業	東日本大震災に係る被災農家の受け入れに向けた被災農家雇用の農業経営に対する支援等 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体:七尾市担い手育成総合支援協議会 ・事業内容:被災農家来訪旅費支援、被災農家雇用経営体支援 	5,100	農林水産課
地域自衛消防団等育成事業費	東日本大震災の教訓に、地域における防災組織や地域防災力のさらなる向上を図るため、自主防災組織の結成に向けた取り組みを実施する。自主防災組織活動費補助(平成23年度新設組織目標数…120隊)	2,000	環境安全課
防災対策費	東日本大震災を教訓に、七尾市防災会議専門委員1名を委嘱し、地域防災計画及び災害に係る避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直しをする。	502	〃
災害対策費	東日本大震災を教訓に、地震、津波発生時の避難訓練及び市民防災会議を実施し、市民の地震・津波に対する意識改革を図る。	821	〃
I.地域経営			
議会管理運営費	地方議会議員年金制度廃止に伴う負担金(H23.6~H24.3)	67,242	議会事務局
地域コミュニティ支援	交付主体：(財)地域社会振興財団 平成23年度長寿社会づくりソフト事業費交付金 イベント名：のとじま手まつり 実施主体：のとじま手まつり実行委員会	1,000	企画課
II.産 業			
市単土地改良事業	・ため池堤体修繕工事(祖母ヶ浦地区) ・揚水ポンプ修繕工事(吉田地区)	1,428	農林水産課
県営基幹水利施設予防保全対策事業	農業水利施設の機能診断、機能保全計画を策定する県営事業に伴う事業負担金。(中能登地区基幹水利施設予防)	2,500	〃
御祓川大通りふれあい広場整備事業	公衆用トイレの設置 ・御祓川大通りふれあい広場内	16,569	産業振興課
III.教 育			

家庭や地域との連携による学び支援事業	「いしかわ学びの指針 12 か条」の推進事業 ・七尾東部中学校工区…学校と家庭が連携し、子供達が主体的に学習に取り組む。	400	子供教育課
人権教育研究指定校事業費	研究指定校で教育活動全体にわたって人権教育に取り組む ・研究指定校 … 田鶴浜中学校	459	〃
体力向上をめざした食育推進事業費	生徒に望ましい食習慣・生活習慣を身につけさせ、体力向上を図る。 ・研究指定校 … 御祓中学校	400	〃

IV.芸術文化

市内遺跡発掘調査事業費	宅地開発計画に伴う、能登国分寺跡最優先追加指定候補地における埋蔵文化財の所在確認調査	2,480	文化財課
-------------	--	-------	------

V.健康・福祉・医療

福祉でまちづくりモデル事業	公民館を拠点とした地域まちづくりの活動を取り組み、市内公民館の内 3 館をモデル対象として実施する。	10,633	生涯学習スポーツ課
地域福祉で支える人材育成事業	地区単位で救急救命法を学ぶ講座を開催し、地域の力となる人材育成を行う。…七尾市社会福祉協議会	2,160	福祉課
地域福祉と地域福祉ネットワーク啓発事業	地域福祉の啓発としてフォーラムを開催。 地域福祉への理解と意識啓発のための情報発信。	2,147	〃
地域支え合い体制づくり	22 公民館に世代間交流のための備品を整備する。	1,320	〃
高齢者福祉施設修繕費	ふれあいの里特殊入浴用チェアリフト機器修繕工事	4,232	〃
生活保護総務事務費	専任の面接相談員を雇用し、収入・資産調査の充実強化、生活相談支援業務の充実を図る。	1,770	〃
肝炎ウイルス検診事業	受診券を送付し無料で検査を行う事で検査未受検者への受検促進の強化を図る。自己負担の免除と検診対象年齢拡大。	2,260	健康推進課
協働のまちづくり推進事業	高齢者や障害者の生活支援事業などの福祉分野に限定した市民活動団体に対し、1団体当たり 20 万円を限度に補助。	1,000	男女協働課

VI.生活環境・都市基盤

地球温暖化、使用エネルギー対策費	いしかわ版環境 ISO 連携モデル事業 ・「いしかわ版環境 ISO 連携モデル地区」において、学校地域・家庭・企業等が連携し、共通のエコライフ活動を実践する。モデル地区…崎山地区	200	環境安全課
農業施設災害復旧事業費	融雪に伴う小規模な農地災害を復旧するもの。 ・中島町山戸地内	1,000	農林水産課

■特別会計補正予算の概要

◆介護保険特別会計補正予算額 … 4,850 万 5 千円

(単位:千円)

介護基盤緊急整備等	小規模福祉施設(グループホーム)におけるスプリンクラー整備補助(2 事業所)等。	8,061	保険課
国庫負担金等償還金	平成 22 年度介護給付費等に係る国、県負担金及び支払基金交付金の清算に伴う返還金	40,444	〃





東日本大震災への支援体制等状況報告

◎職員の出遣状況 (平成 23 年 6 月 30 日現在)

■七尾市役所	所 属		派 遣 目 的		期 間		職 員 数
	水道課		給水支援活動		3/17～3/23		延べ 14 名
健康推進課		保健師(7月8月にも予定あり)		3/21～6/10		延べ 56 名	
税務課		罹災証明に係る家屋調査		5/16～6/28		延べ 32 名	
七尾鹿島広域圏事務組合		第 1 次	第 2 次	第 3 次	第 4 次	第 5 次	救助部隊 23 名
■消防本部	隊数(隊員数)	2(7 名)	2(7 名)	2(7 名)	2(6 名)	2(6 名)	後方支援 10 名
(派遣終了)	活動日数(出発)	1(3/12)	2(3/13)	3(3/15)	3(3/18)	3(3/21)	(県総数 383 名)
七尾鹿島広域圏事務組合		派遣のチーム構成			派 遣 先		派 遣 期 間
■公立能登総合病院	DMAT チーム(災害医療救護班)	医師(1)看護師(3)調整員(3)			宮城県仙台市 仙台医療センター		3/11～3/14
	被ばくスクリーニングチーム	医師(1)看護師(1) 放射線技師(1)調整員(1)			福島県立 会津高校 他		3/17～3/20
	医療救護班	医師(5)看護師(9)調整員(6)			宮城県石巻市		3/27～6/22 今後も予定あり
	心のケアチーム	精神保健福祉士			〃		7 月予定

◎被災者受け入れ状況 (平成 23 年 6 月 30 日現在)

●定住促進住宅の入居可能空き部屋数			
住 宅 名	入居済戸数(人数)	空き部屋数	備 考
七尾定住促進住宅(3DK)	7 戸(19 名)	8 戸	福島県(南相馬市・福島市・石川町・浪江町・いわき市)
田鶴浜定住促進住宅(2K)	—	10 戸	
中島定住促進住宅(3DK)	8 戸(23 名)	26 戸	福島県(南相馬市・富岡町・郡山市・大熊町・浪江町)
能登島定住促進住宅(3DK)	3 戸(15 名)	8 戸	福島県(会津若松市)宮城県(仙台市)
計	18 戸(57 名)	52 戸	
そ の 他	11 世帯 21 人 (矢田町・鶴浦町・田鶴浜町・石崎町・藤橋町・和倉町・能登島向田町・大田町)		
合 計	78 名		

◎被災者への支援

- 入浴施設の支援策 … 「アスロン」⇒ 450 円(無料)
- 生活福祉資金の貸付(担当 : 七尾市社会福祉協議会)
 - ・石川県社会福祉協議会は、県内に避難した世帯を対象に「緊急小口資金制度」による貸付を始めた。
 - ・貸付額の上限は、10 万円で、世帯に死亡者がいる場合などは 20 万円。

今回、私の議会質問は「東日本大震災から学ぶ防災対策や取り組み」「全国瞬時警報システム(J-ALERT)の運用と活用策」「七尾市におけるエネルギー政策」「七尾市の電子自治体最適化と目指すべき方向性」「七尾市における地下水等水源保全対策」「七尾市健康増進計画と『がん』対策」「世界農業遺産と実行計画」以上の7点20項目について質問致しました。(詳しくは、七尾市ホームページや議会定例会会議録をご覧ください。)

9月議会もケーブルテレビで議会中継をご覧ください。



